山中漆器の発祥

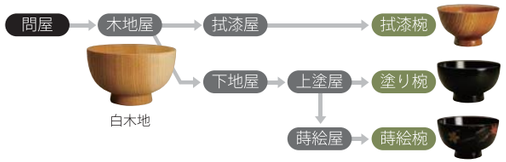
木地挽物の祖とされる第 55 代文徳天皇の第一皇子惟喬親王が、滋賀県神崎郡（現東近江市）永源寺町蛭谷の奥地に住まわれ、木地挽物の仕事を教えられたのが日本の木地師の始まりとされています。以来多くの木地師が育ち全国に良材を求めて移住しました。一部の人は滋賀県から福井県へ、そして石川県加賀市山中温泉真砂の地に挽物の場を求めたのが約 450 年前とされています。

山中漆器の製造工程

山中漆器の原点は「挽物轆轤（ひきものろくろ）技術」で、大きな特徴は、輪切りにした天然木を使う「堅木取り」と、千筋、荒筋など、木地に様々な模様をつける山中独自の高度な技「加飾挽き」にあります。

漆器は分業によってつくられます。漆器屋（問屋）がデザインを決め、木地屋が木地を挽き、下地屋・塗師屋・蒔絵屋と順に加工していくことで製品が完成します。

山中漆器の製造工程



主なつくり方

製材・荒挽き

原木を目的に合わせてカットし、轆轤にかけて荒挽きしたあと乾燥します。荒挽きによってひび割れることなく木材を乾燥させ、乾燥の際にひずみのほとんどを出し切ります。

仕上挽き

乾燥した荒挽き材を轆轤にかけ、木地師自作の刃物を使用し鮮やかな切れ味で挽き上げます。加飾（筋挽き）はここで加えます。

拭き漆

木地に漆を染み込ませ（木地固め）、汁漏れがないよう目止めした後、漆を摺りこみ、拭き取り、乾かす、の作業を 3 回以上、目的により 20 回以上、繰り返し仕上げます。

髹漆（下地・上塗）

木地固め（〜研ぎ）、布着せ（〜研ぎ）、地付け（〜研ぎ）といった下地工程を経て、下塗り（〜研ぎ）、中塗り（〜研ぎ）、上塗りと漆を塗りかさね、完成します。

アクセス

小松空港から

［バス〜JR］
ＪＲ小松駅ゆきに乗り、
ＪＲ小松駅から加賀温泉駅へ計約25分

［タクシー］
小松空港から約 30 分

JR北陸本線／加賀温泉駅から

［加賀温泉バス］
山中温泉ゆき　塚谷町下車（約30分）
山中温泉街方向に徒歩３分

［タクシー］
ＪＲ加賀温泉駅から約20分

北陸自動車道から

加賀Ｉ.Ｃ. から山中温泉をめざし約30分

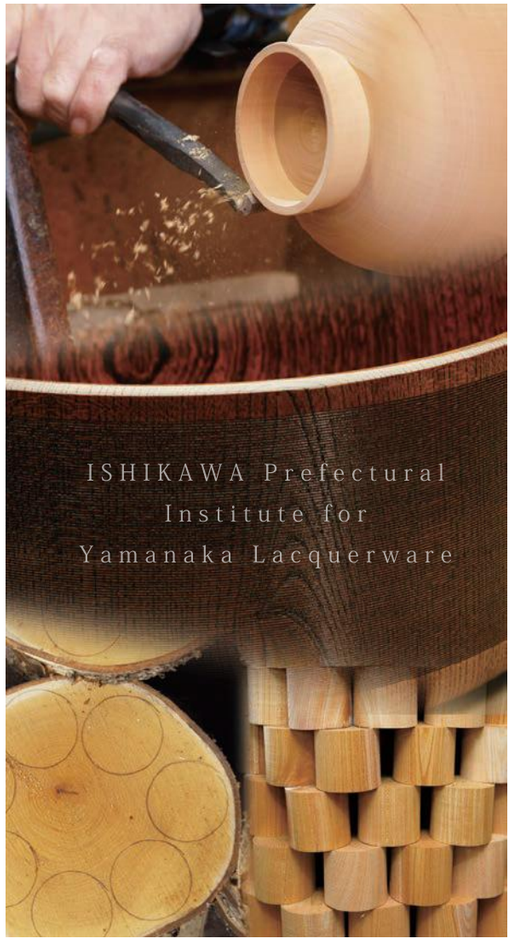
石川県立山中漆器産業技術センター
（石川県挽物轆轤技術研修所）

〒922-0111 石川県加賀市山中温泉塚谷町イ 270 番地
TEL.0761-78-1696　FAX.0761-78-8696
Mail：ymnkssgc@po.incl.ne.jp　http://yamanaka696.org

［開館時間］９時〜17時（見学は10時〜16時、体験は10時〜15時）
［休業日］年末年始（12月29日〜１月３日）　［駐車場］有り（無料）

石川県立 山中漆器 産業技術センター

木地挽き ろくろ体験 見学できます



建設の趣旨

当センターは、山中漆器の原点で、全国の頂点に立つ「挽物轆轤（ひきものろくろ）技術」の習得と後継者育成及び将来の山中漆器産業を担う人材の養成、自主研究等を行うための産業振興の中核施設として平成９年４月に開設しました。全国で唯一「挽物轆轤技術」及び「漆芸技術」を専門的に学べる研修施設です。

平成 30 年４月からは、若手木地師の自立開業を支援する「レンタル工房」を開設し、山中漆器のさらなる発展・振興を図っています。

事業の内容

挽物轆轤技術研修事業（木製漆器の轆轤技術者の育成）

《学科、修業年限及び入学定員》

学　科	修業年限		定　員
基礎コース	毎週月曜〜金曜	２年	５人
専門コース	毎週火曜・水曜	２年	５人

《カリキュラム》

- 轆轤木工芸実技
  椀、盆、盛器、蓋物等の製作／木地挽き道具作り／拭漆　等
- 木工及び漆芸全般
  刳物（くりもの）／きゅう漆、蒔絵、変塗　等
- 描出、形態、意匠デザイン
  日本画・環境デザイン　等
- 教養一般
  工芸史、美術一般、茶道、生花、書道　等

産業振興事業（山中漆器産地の振興を推進する人材の育成）

- 製造開発や経営に関する研修
  （商品開発技術、生産加工技術、経営実務など）
- 伝統的な漆芸技術の研修
  （組合員の技術練磨のための蒔絵、きゅう漆、乾漆、デジタル工作教室など）
- 施設・機器の貸し出し
- 自主研究グループの育成
- 技術相談
- 体験教室（一般の方や生徒児童対象の体験教室による漆器産業の普及）

建設概要

《内容》

構　　造 ／ 鉄筋コンクリート造 ３階建て
敷地面積 ／ 2,752.95 ㎡
建設面積 ／ 1,054.48 ㎡
延床面積 ／ 2,257.28 ㎡
1 階　884.91 ㎡
2 階　712.45 ㎡
3 階　659.92 ㎡

建設の経過

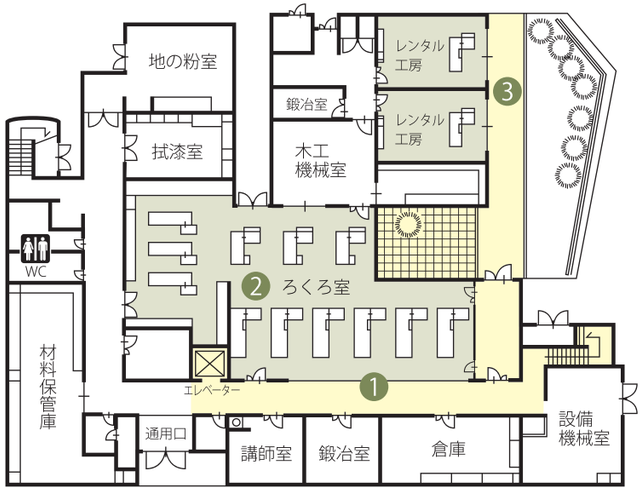
《内容》

平成 4 年度	基本構想策定
平成 5 年度	基本計画策定
平成 6 年度	地質調査 基本設計実施
平成 7 年度	実施計画 建設工事着工
平成 8 年度	建物 研修設備完成
平成 9 年度	開設
平成30年度	レンタル工房開設

館内案内図

見学エリア

1階



❶ ろくろ室見学スペース

当施設は、全国で唯一「挽物轆轤（ひきものろくろ）技術」及び「漆芸技術」を専門的に学べる研修施設です。平日は、研修生が轆轤挽き研修に励む様子をガラス窓越しに見学することができます。

❷ ろくろ室

（木地挽きろくろ体験）

※事前予約制

道具の扱いが難しい轆轤挽きですが、指導を受けながら轆轤を使って木を挽く簡単な体験ができます。

❸ レンタル工房

若手木地師（職人さん）の自立を支援する施設です。各工房に轆轤を備え、ガラス窓越しに、轆轤挽き作業を見学することができます。

※作業を行っていない日もありますので、ご了承ください。

木地挽きろくろ体験とセンターの見学

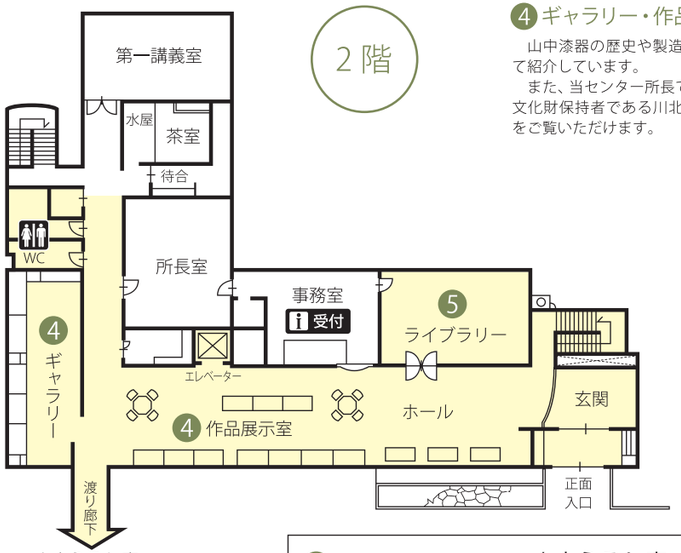
見るだけでは分かりにくい伝統工芸の価値を感じてもらうため、山中漆器の職人の手ほどきで、ろくろを使った簡単な木地挽き体験ができます。また、センターの見学ができます。

	木地挽きろくろ体験	センター見学
所要時間	15分程度 ※人数により相談 最大人数10名程度	15分程度 ※見学＆体験：30分程度
実施時間	土・日・祝…10時～15時 平日…応相談 ※研修状況により受付できない場合があります	10時～16時
費用	300円（実費） ※完成品のお渡しはありません	無料
申し込み	土・日・祝日は**当日受付可** 平日は1か月前までに要予約 （電話・FAX・メール）	職員による説明を希望される場合は、前日までに要予約 （電話・FAX・メール）

見学・体験予約連絡先

TEL.0761-78-1696（ろくろ）　FAX.0761-78-8696（ろくろ）　✉Mail：ymnkssgc@po.incl.ne.jp

2階



❹ ギャラリー・作品展示室

山中漆器の歴史や製造工程について紹介しています。

また、当センター所長で、重要無形文化財保持者である川北良造の作品をご覧いただけます。

❺ ライブラリー

山中漆器をはじめ、漆器に関する書物・文献をご覧いただけます。

❻ 山中漆器が一堂に集う　山中うるし座（山中漆器伝統産業会館）

山中漆器伝統産業会館内のショップ「山中うるし座」では、木地を生かした伝統漆器から蒔絵を施した茶道具や、現代の暮らしにあわせた近代漆器まで、組合員40数社の商品を出展即売しています。

- 開館時間／9時～17時30分
- 休館日／年末年始
- 入館料／無料

問合せ：山中漆器連合協同組合
☎0761-78-0305

3階

■ 施設・設備の貸し出し

講義室や、山中漆器の制作に必要な設備を貸し出しています。

※事前申し込みが必要です。

＜施設使用料＞

施設名	使用料		
	9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～21:00
第一講義室	1,810 円	2,340 円	2,340 円
第二講義室	2,020 円	2,660 円	2,660 円
試作研究室	2,120 円	2,880 円	2,880 円
茶室	1,910 円	2,450 円	2,450 円

＜主な設備使用料＞

設備名	使用料
くろめ鉢	200円／1時間
サンドブラスター	310円／1時間
ベルトサンダー	200円／1時間
大型ろくろ	410円／1時間

※詳しくはお問い合わせください。